

2015年4月15日(水) ハコラク5月号 掲載

ドクターコラム『脳梗塞について』

脳神経外科 今井 哲秋 医長

ドクターコラム

2 [脳神経外科]

脳梗塞は、脳の血管がつまり、脳の組織が酸素不足で死んでしまう病気です。したがって、一度脳梗塞になってしまった部分の脳は元には戻りません。そのため、早期発見・早期治療が大変重要です。

脳梗塞には、大きく分けて3種類の型があります。一つはアーテローム血栓性脳梗塞というもので、動脈硬化で血管が傷み細くなつてると、脳の血流が悪くなり、酸素不足に耐え切れなくなつた脳組織が脳梗塞になります。したがって、動脈硬化を

進行させるような、高血圧、脂質異常症、糖尿病などのいわゆる「生活習慣病」や喫煙に関係しており、これらに対する管理も必要となりますが。二つ目は脳塞栓で、ほとんどが心臓を原因とする心原性塞栓といいうのです。心房細動という不整脈が起こると、心臓の中で血がよどみ、血栓ができやすくなります。これが血流に乗つて脳の血管につまつてしまふと、やはり脳梗塞になります。三つ目はラクナ梗塞といいうもので

「脳梗塞について」



意味で、小さな脳梗塞を意味します。症状は軽いことが多いですが、中にはしばしば拡大し、麻痺などの症状が進行してしまうケース（BADといいます）があります。

脳梗塞の主な症状としては、右ないし左半身の脱力やしびれ、顔のゆがみ、ろれつが回らない、言葉が出ない・理解できない、目が見えづらい、めまいなどがあります。そして、以前から何となくとくいうよりは、ある時突然症状が出現するものです。脳梗塞は、発症4時間半以内であれば、血栓を溶かす強力な注射を使用することで血管を再開通させ、症状の劇的な改善が期待できる場合があります（t-PAによる血栓溶解療法）。前述のような症状がみられた場合は、様子を見たりせず、救急車を呼ぶなどし、すぐに脳神経外科へ受診してください。

函館中央病院
脳神経外科
今井 哲秋 医長

[略歴]

平成16年北海道大学医学部卒業。
市立旭川病院、北海道大学病院、
函館中央病院、帯広厚生病院、苦
小牧市立病院、市立千歳市民病院、
釧路災病院勤務を経て、平成2
5年より函館中央病院脳神経外科
勤務。同年脳神経外科医長に就任。
日本脳神経外科学会専門医。



函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubu-you.com/>

診療科目／内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、

心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全22科目

受付時間／8:30~11:30・13:30~16:00※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては予約。

休診日／日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)